



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 白滝で国宝誕生

## 先史時代解く高い価値

最古の国宝が道内に誕生する。オホーツク管内遠軽町の白滝遺跡群で出土した後期旧石器時代の黒曜石の石器などが国宝に指定されることになった。

旧石器時代の資料が国宝となるのは全国でも初めてである。道内では縄文時代の中空土偶(函館市)に次いで2例目となる。

世界最大級の石刃を含む計1965点は質、量ともに世界的な価値を持つと認められた。先史時代の人々の暮らしや技術力を解き明かす貴重な資料である。

今後の研究の進展を期待するとともに、教育や文化振興、さらに観光などで地域を活性化させる宝物として生かしていきたい。

指定を受けるのは約3万年～1万5千年前に作られた鋭利な石器や、加工時に出たかけらなどを組み合わせた「接合資料」が主だ。

大半は2011年に国の重要文化財指定を受けており、文化審議会が国宝への格上げを答申した。来春にも正式に指定される。

出土した白滝遺跡群は大雪山系の北東側の麓にあり、国内有数の黒曜石の産地である。これまでの発掘調査で760万点もの大量の石器やかけらが見つかった。

特徴は種類が幅広く、石器作りの過程が良く分かる点だ。種類の豊富さや質の高さは国内の旧石器遺跡の出土品で群を抜く。

旧石器人の行動範囲を示す資料としても価値が高い。白滝産黒曜石の石器は山形県やサハリンなどでも出土し、当時の人々の活動解き明かす意味は大きい。

国宝指定には地域の地道な活動が貢献した。遠軽町埋蔵文化財センターを中心に発掘や資料整理などに多くの人が携わってきた。

来年7月には国内外の考古学や地質学の研究者らが集う国際会議が開かれる。遺跡や出土品の価値をアピールする機会としたい。

先史時代に光を当てる点では「北海道・北東北の縄文遺跡群」の昨年の世界遺産登録が記憶に新しい。より古い旧石器時代の白滝遺跡群と合わせ、有史以前の人間の活動をたどる格好の場となる。

所在が道南と道央に集中する縄文遺跡群に対し、白滝は道東に位置する。全道の遺跡を巡る観光ルート開拓の可能性を秘めよう。道や観光業界を中心に企画を進める選択もあるのではないか。

「工作するヒト」を意味するホモ・ファールというラテン語がある。道具を作ることが人間の本質だ、との見方を示す。それに従い、私たちの遠い祖先が作った石器から人類の歩みを考えたい。

2022年11月28日(月)朝刊 全道版 5ページ

- ①国宝に指定される予定の黒曜石の石器などについて以下の表にまとめました。(A)～(C)に当てはまる言葉を記事から書き抜きなさい。

全国初	(A)時代の資料が国宝になる。
作られた年代	約(B)万年～1万5千年前
特徴	種類が幅広く、(C)の過程が良く分かる。

A

B

C

- ②次の選択肢の中から正しくないものを一つ選びなさい。

- ア 道内ではすでに縄文時代の中空土偶が国宝に指定されている。  
 イ 今回指定されたものの大半が2011年に重要文化財指定を受けている。  
 ウ 今年7月には国内外の考古学や地質学の研究者らが集う国際会議が開かれる。  
 エ ホモ・ファールというラテン語は「工作するヒト」を意味している。